

高津第一地区

社協ニュース

第48号

発行日 平成27年10月1日
 発行人 高津第一地区社会福祉協議会
 会長 川 辺 清 三
 高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3F
 TEL 044-812-1879 FAX 044-812-3549



「久地梅林公園」

稲田 次男氏の遺志を継ぐ

高津第一地区民生委員児童委員協議会
 会 長 岸野 久子



4月30日の総会で、任期の途中から会長という大役を仰せつかりました。

民生委員児童委員として地域福祉の充実に力を注いで来られた稲田次男高津第一地区民生委員児童委員協議会会長が4月5日に亡くなられました。一昨年秋に体調を崩し闘病中でしたが、昨年12月の宿泊研修には参加されるなど、お元気になりましたのに、突然の訃報に言葉もありません。

私に勤まるか、重責が肩に重くのしかかり不安だらけのスタートでした。しかし、副会長や役員はじめ、民生委員仲間の温かい指導と協力のもと、なんとか数カ月を過ごすことが出来ました。

2年後には民生委員制度創設100周年を迎えるそうです。考えてみればそのうちのほんの僅かな期間ですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

日本では少子高齢化が進み、家族形態がかなり多様化しました。若い人が多いと言われてきた高津区でも、今年の4月には65歳以上の高齢者人口の割合が17%となり、およそ6人に1人が高齢者という状況になったそうです。

私たちの担当する地域（溝口、久地、宇奈根）でも若い世帯の方々の転入で子どもが増え、活気を取り戻した地区がある一方で、子どもたちが独立し、ひとり暮らしや高齢者のみとなった世帯が増えています。さらに首都圏における大震災が危惧される中、従来にも増して周到な備

えや地域の人々の温かいつながりが必要となりました。

今まで同様、地域の皆様とのつながりを大事にしながら、高齢者世帯や子育て家庭等で問題を抱える方々の早期発見に努め、関係機関・団体との連携を密にして福祉サービスの利用や支援につなぎ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを、また、保育園児対象の「いもほり体験」や、平成21年、22年の指定民児協事業で立ち上げた「子育てサロン うめの里」など、稲田前会長時代に手塩にかけて育ててきた取り組みも、継続的に、より充実させていきたいと考えております。

皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

稲田 次男 前会長の略歴

昭和58年12月1日	民生委員児童委員委嘱
平成10年12月1日	高津第一地区民生委員児童委員協議会会長
平成16年12月1日	高津区民生委員児童委員協議会会長
平成19年11月2日	厚生労働大臣 表彰
平成19年12月1日	川崎市民生委員児童委員協議会副会長
平成26年春	叙勲で民生委員児童委員として永年にわたり福祉の充実にご尽力された功績に対し贈られる瑞宝単光章を受章されました。

福寿草の会

満開の桜のした 心うきたつひととき

第161回

会食会を兼ね、交流を楽しむ「春の歩こう会」は、晴天の4月2日に実施。77名が大山街道ふるさと館を10時に出発しました。



「高津第一地区社協」の小旗を先頭に、久地第三きらく会、久地東長寿会、宇奈根もみじ会、久地いきいきクラブの方々と福寿草の会会員が共に、緑ヶ丘霊園の噴水広場を目指しました。途中、「おじいちゃん頑張れ！おばあちゃんガンバッテ！」と園児から大連呼を受け、津田山口へ。春の思い出話、桜の和歌などを語り合い、満開の花の坂道を登り切り、11時広場に到着。

桜の下で車座になり弁当と飲み物で会話がはずみ、箸紙で電話番号を交換される方も。「満開の桜に元気をもらいました、来年も元気なお顔を」との会長挨拶で解散に。

第162回

5月14日は暑い日でしたが、63名が参加。献立はゆかりご飯と



煮魚ほか。キンメは上手に煮付けられていますね、などの会話も。続いて、介護予防かわさき体操「上を向いて歩こう」の指導をうけました。

第163回

7月2日、67名が参加。「みんな健康で！」などの願いを七夕竹（前会長河原勇さんより）に飾り、カレーライスで会食。「ペンギンの折紙」のアトラクションでは、隣同士で教え合って完成させ、「楽しかったですヨ、ありがとう」の感想もありました。



救える命は市民の手で救おう！

普通救急救命講習会

5月15日、大山街道ふるさと館で開催された。消防局は、救急患者の救命率の向上を目指し、心肺蘇生法や止血法などの応急手当ての実技を身に付けた「市民救命士」の養成を積極的に行っている。当協議会は、15年にわたり講習会を開催し、多くの市民救命士を育成してきた。

今年度は20代から80代まで幅広い層の方30名が参加。特に介護職員、保育園の先生の参加名があった。これまでに395名の市民救命士が誕生している。



親子で自然に親しむ機会を

6月13日、第13回「親子でいもほり体験」が、くじ保育園の園児とその家族・職員の約150人を招待し開催された。

前会長河原さんが提供されたじゃが芋畑で、午前10時開会式のあと、一斉に園児達は畑に飛び出し、土とたわむれながら、じゃが芋ほりを始めた。

参加者の母親は「土に触れる事が少ないので、今日は良い経験をさせて頂きました」1歳半ぐらいの女の子が、採った小さなじゃが芋をそのまま口に運び食べようとしている姿がとても愛らしかった。

掘り終わると、大きな梅の木の下でじゃがバターをほおぼっていた。じゃが芋のお土産を手に、「ありがとう〜」「有難うございました」の声と共に帰路に。

この「親子でいもほり体験」は、地域の方々と親しく交流し、子育て支援の一環として、今後も続けたい行事である。



移動動物園は大にぎわい！

8月19日、溝口南公園で猛暑の中、「第18回夏休み子どものつどい」を開催した。動物は、福田牧場(高津区新作)の羊・ヤギ・うさぎ・亀・アヒル等10種類以上の小動物とポニーの乗馬コーナーが設けられた。

子どもたちは、餌のキャベツやニンジンやヤギや羊に最初はこわごわと与えていたのが次第に満面の笑顔に。ひよこ・うさぎ・ハムスターを小さなかごに入れ、ひざの上で抱きかかえ、触れ合いを楽しんでいた男の子が、時間が来ても別れるのが「やだ！」と泣き出す一幕も。

乗馬コーナーは、開園前から長い列ができるなど大賑わい。ポニーに乗ってコーナーを一周し、降りる前にピースサインで記念写真。閉園時には、乗馬終了の札を出して規制をするほど大盛況であった。子どもたちには飲み物が配られ、およそ700人を超える来場者があり、トラブルもなく楽しいイベントだった。地域社会の絆を強め、子育て支援の一環として今後も継続していく予定。



第26回たかつ区健康福祉まつり

健康づくりと福祉活動を結ぶ



7月11日(土)、てくのかわさきでたかつ区健康福祉まつりが開催され、猛暑の中1800人もの来場者がありました。屋外では、東日本大震災復興支援の物産店、市民健康の森を育てる会、一日一万歩歩こう会の模擬店。館内では、参加団体の活動紹介や作品が展示され、カードを手にスタンプラリーに興じる子どもたちなど大勢の人でにぎわいました。ホールでは、フラダンスやストレッチ講座があり、数々のコンクールで受賞した坂戸小学校合唱団、洗足学園の学生によるコンサートが聴衆を魅了しました。

福祉まつりは、区内で活動している福祉団体、健康づくりに取り組んでいる団体など38団体で実行委員会を組織し、互いの活動紹介や交流し学びあう場として開催しています。今年も多数の参加者で楽しく交流できた一日でした。

猛暑の中で 高津区民祭 …地域の絆を深める…

7月26日(日)、第42回高津区民祭が開催されました。気温が36度になる猛暑のなか、大山街道沿道は延べ20万人もの人出でにぎわいました。午後2時、大山街道ふるさと館で開会セレモニーが開催され、パレードは高津スポーツセンターから栄橋交差点までの約3.5kmの道のり。福祉車両レッツ号を先頭に高津区社会福祉協議会の幟旗を掲げ、社会福祉活動を紹介するチラシを沿道の市民に配布しました。

高津区民祭は、市内では最も早くから「地域の絆を深めよう」と始められた市民の祭典。地域で様々な活動をしている事業者、自治会・町会、社会活動団体が実行委員会を作り開催しました。パレード後半では、大山街道ゆかりの「納太刀(おさめだち)」や「久地神社大太鼓」、12基の神輿が渡御し、溝口神社を目指しました。



 町会訪問シリーズ

溝ノ口駅前町会を訪ねて

「高津の顔」といえば、JR と田園都市線が交差するターミナル駅「溝ノ口」。今回は、町会長境野勝之さんをお訪ねしてお話を伺いました。



町会の範囲を教えてください

基本的には、溝口1丁目と2丁目の一部です。武蔵溝ノ口南口の一部から北口のポレポレ通りを中心にイトーヨーカドーまで。西側はおおむね旧平瀬川までです。エリアとしては駅前商店会と重なります。

町会の構成や特色などをお知らせください

町会の会員数は430軒です。そのうち、7割が一般住宅で3割がテナントです。近年は、マンション居住者が増加しています。町会の役員は15人ほどですが、商店会の役員とはトップが違うだけで同じメンバーが担っています。

どんな活動をされていますか？

他の町会がやっている防犯や防災、敬老活動などは難しいのが現状です。町会の最大の行事は、溝口神社の大例祭への取り組みで、神酒所

は東急側駅前

に作ります。大

人気子ども神輿や

山車を引く参加者は、町会から40人、一般から40人を公募しています。保護者を含めると200人もの壮大な行列になります。5ヶ所の休憩所で子どもたちに配られるお土産は、持ちきれないほどです。また、大神輿の担ぎ手は200人を超えるほどにもなります。この大例祭の行事を行うために、町会の会員だけでなく、商店会の事業所の皆さんにも協力してもらっています。

今後の抱負などお聞かせください

年2回、5月と12月に清掃活動をしています。この5月は平日の午後にもかかわらず、53名の参加がありました。全員が町会名の入ったチョッキを着て、ポレポレ通りを中心に約1時間、道路清掃を行いました。駅前商店会と共に「高津の顔」といわれる溝ノ口駅前のよりよい環境づくりに取り組んでいきたいと思います。

(聞き手 Y)

ぶらっと体操広場、始まる！

高津区社会福祉協議会で推奨している「おたっしや10のトライの虎の巻」は、生活習慣病予防、心の健康維持、食生活や運動など健康寿命を伸ばすための10か条です。その一環として、今年7月より「ぶらっと体操広場」が、いこいの家で始まりました。

健康増進のため、どなたでも自由に参加できる体操の広場です。ビデオに合わせて、体調に合わせて無理なく体を動かし楽しむことが出来ます。さあ、みんなで気持ちの良い汗を流しましょう！



開催場所
開催日

くじいこいの家

毎月第2、4、5水曜日
午前10時、11時の2回

詳しくは、いこいの家にお尋ねください。

敬老慰問品をお届けしました！

9月1日から始まった敬老週間。今年も当協議会から、「見守りカード」に登録されているひとり暮らしの方や寝たきりの方85名に、敬老慰問品をお届けしました。

どうぞ、お健やかに過ごしてください。

編集後記

今年の夏、会う人々の挨拶は、「暑いですねえ」から。年々気温が高まり、体温よりも高く、各地では最高値を更新。猛暑のなかの行事参加でした。地球温暖化により、日本の四季にも様々な影響が…。今、美味しく、美しい秋です。(や)

編集委員 田中 道彦、望月 正一、矢島真理子、
横山 滋、若林豊茂美